

## 中越地区研究集会

### 1 地区研究集会の概要

(1) 期 日 平成25年10月 2 日(水)

(2) 会 場 見附市立見附小学校

(3) 日 程

12:50 13:20

14:00 14:15

16:25 16:35

受付	開会式	会場移動 休憩	分科会・分散会	閉会式
----	-----	------------	---------	-----

### 2 大会開催に向けて

本研究集会は、見附市小学校長会が主管をして大会準備及び当日運営を行うこととした。しかし、見附市小学校長会は8名と少人数のため、三条市小学校長会より12名の会員が実行委員に加わり、総勢20名で当日までの準備、当日の運営に当たった。

実行委員会は、総務・企画部会、研修部会、編集部会、会場設営部会、会計事務部会の4部会に分かれて仕事を進めていった。

部会会場や駐車場の確保という点から、見附小学校を会場にしたが、見附市文化ホール アルカディアの駐車場も借りて、駐車場不足を補うこととした。

また、分科会会場の設営には、見附小学校の職員にも協力をあおぎスムーズに分科会を運営することができた。

見附大会は、新しい大会主題の下で平成27年度関プロ新潟大会に向け、中越地区としてのスタートを切った。そのため、関プロ大会での発表テーマを受け持つ分科会については、2グループを設定し、多くの意見を交流して研究の厚みを増すように配慮した。また、今年度の発表を基に来年度のプレ発表、再来年度の本発表と研究が深まっていくようにした。そして、中越地区の会員186名が積極的に参加した有意義な大会となるよう、実行委員会で協議しながら大会準備・運営を進めた。

### 3 研究集会の概要

#### (1) 開会式

来賓として、中越教育事務所長山田修様、見附市長久住時男様、見附市教育委員会教育長神林晃正様、県中学校会長川端弘実様をお迎えした。

歓迎のあいさつの中で布川実行委員長は、県のと真ん中「へそ」に位置している見附市の共創郷育について紹介した。山岸真夫県小学校長会副会長は、全国学力・学習状況調査の結果から、今後は学習意欲向上という観点でも取り組んでいかなければならないとし、学力向上に関する本県の課題を示した。そして、新しい大会主題となって最初の年であるという本大会の意義について述べた。中越教育事務所長代理の学校支援第一課長渡辺茂夫様、見附市長久住時男様からはご祝辞をいただいた。最後に湯本正明県小学校長会研修副部長が大会趣旨説明を行った。

#### (2) 部会協議

本大会では、平成27年度の関プロ新潟大会に向けて、大会主題を「未来を生き抜く知を磨き絆を強め学び続ける子どもを育てる学校経営」と改め、研究を深めていくこととした。

その実現に向けて、10部会、24分科会を設定した。小グループでの話し合いに、参加校長一人一人の研修意欲と問題意識が強く現れる協議となり、充実した研修となった。